

## 消費者物価指数 2015 年基準改定計画（案）の概要

### 基準改定の主な内容

#### (1) 指数の基準時の更新

- ・ 指数を 100 とする年次を 2010 年から 2015 年に更新

#### (2) ウェイトの更新

- ・ 固定基準方式のウェイトを 2015 年に更新 ⇒消費構造を一定として物価変動を測定
- ・ 連鎖基準方式のウェイトは毎年更新 ⇒毎年の消費構造の変化を反映

#### (3) 品目の改定

- ・ 家計消費支出上の重要度等を踏まえて品目を改定⇒新基準の品目数は 585 品目  
追加 33 品目：コーヒー飲料(セルフ式)、補聴器、警備料など  
廃止 32 品目：お子様ランチ、ETC 車載器、筆入れなど  
8 品目を 4 品目に統合：学校給食(小学校高)と学校給食(小学校低)の統合、小型乗用車Aと小型乗用車Bの統合など
- ・ 品目概念の拡充等に伴い品目名称を変更  
名称変更(予定)：音楽ダウンロード料をウェブコンテンツ利用料に変更など

#### (4) モデル式※の改定

- ・ モデル式の精度の維持向上に必要な改定  
(価格を合成する際の比率等の更新、採用する価格及びモデルケースの見直し等)
- ※ 航空運賃や電気代、携帯電話通信料などの一部の品目は、料金体系が多様で価格も購入条件によって異なることから、これらの価格変動を的確に指数に反映させるため、品目ごとに典型的な利用事例をモデルケースとするなどにより設定した計算式(モデル式)を用いて月々の指数を算出。

#### (5) 公表系列の充実

- ・ 人口構造の変化を踏まえ、世帯主 65 歳以上の無職世帯の指数を新たに公表
- ・ 生鮮食品を含む総合等について連鎖基準方式の月次指数を新たに公表
- ・ 連鎖基準方式における各類・品目の寄与度を新たに公表
- ・ 利用環境向上のため、参考値として小数第 3 位までの指数を開示

### 指数作成上の基本方針

- (1) 調査銘柄の常時見直し 企業戦略や消費行動の変化に対応し絶えず売れ筋を調査
- (2) 品質調整の適切な実施 価格変動の計測において品質一定の条件を確保
- (3) POS情報・インターネット情報の活用 指数作成や品質調整、銘柄管理に活用
- (4) モデル式の随時見直し 新たな料金制度や価格体系の出現・普及に対応
- (5) 品目の中間年における見直し 急速な普及を見せる財やサービスに柔軟に対応

### 基準時の更新時期及び関連情報の公表の予定

- (1) 指数の基準年次の更新等は 2016 年 8 月下旬の公表時を予定
- (2) 関連情報等についてはより早期に公表を予定